

「ならなぎ」例会結果報告書

報告者： 嶋村伸子

当番班長が作成すること

日 時	2024年12月20日（金） 10時00分～14時50分	天候	晴れ	コース名：歌碑巡りコース	
参加者名	1班：近野、澤井、玉尾（洋）、武田、服部、山口、久賀田 (7名) 2班：嶋田。中谷、嶋村、堀内（け）、杉林、中村（初）、宇野 (7名) 3班：山岡、奥山、竹山、西本、吉川、玉尾（ひ） (実習生)竹内さん、(シニア自然大学 見学)小松さん(8名)	リーダー		1班：玉尾（洋） 2班：中谷 3班：山岡	

(所感・雑感・反省点、など)

(1班)

- 初めてのコース、興味深くまわりました。ここに碑がたっている理由が不明なのが多いようでした。
- 初めてのコースで緊張しました。距離もあり疲れました。リーダーとしてもっとメリハリを付けてガイドに努めます。新鮮で良かったです。
- 知らない所にたくさん歌碑がありビックリ！次はゆっくりみれるようにしたい。
- 初めてのコース、ありがとうございました。色々な時代の人の歌を詠みながら、その時代の人の気持ちを考えながら、その時代の人の気持ちを考えながら歩きました。難しいですが、楽しかったです。勉強が必要だと思いました。
- 初めての句碑めぐりコース、なかなか興味深いものでした。新しい奈良を発見したような気がします。
- 初めてのコース、距離長く歩きつかれた。歌碑のむつかしい作者や時代背景の説明も必要ですね。
- 歌碑コース、玉尾リーダーさん、よく勉強されていて感心しました。ファイルの掲示資料も分かりやすく、また、次回に担当した時のいい参考になりました。

(2班)

- 初めての歌碑コース大部端折ってしまったし、追加すべき事が明らかになった。
案内としては、不十分で申し訳なかった。
- 歌碑コース、楽しい文学的コースで、良かった。奈良の良さが再確認できた。
リーダー良く学習されており研修になった。
- いつもとは、違う景色で新鮮な感覚でした。私見も交えた歌碑解説はとても勉強になりました。
- 知らない所にたくさんの歌碑がありました。一時ゆうがな気分にひたされました。
- 北川さんのピンチヒッターで中谷さんのリーダーであった。
わかりやすい説明で前々回もそうであったかと感心した。
- 三十一文字に美しさ、悲しみも込め詩えるのは、素晴らしいですね。
丁寧に説明して下さいました。
- 歌碑コース、いつも見慣れた景色も歌碑があるだけで、歴史だけでなく、その時代を生きた人々の姿がよみがえるような、奥深いコースに思えた、
但しこのコースを案内するのは、とても、大変だと感じた。
そんな中、中谷リーダーは元々博識だが、ピンチヒッターにも関わらず長いコースをわかりやすく説明していただいた。歴史も交えた、分かりやすい案内、本当にありがとうございました！

(3班)

- 山岡リーダーの素晴らしい句碑歌碑の解説でした。面白いエピソード盛沢山。 楽しかったです。
- 初めての歌碑巡り、例会の一部も含まれていて長い時間でした。どちらかに重きを置く方が良いと思った。
山岡さんのお話は、とっても面白く楽しめました。

- ・3班は、山岡さんの素晴らしい解説に聞きほれてしまい、また聞きたいくらいです。とても良かったです。
- ・歌碑巡り、大変いい勉強になりました。歌人のいろいろな思いをもう一度味わいたいものです。
- ・新コースの解説で緊張しましたが、何とか終えることができました。ご清聴ありがとうございました。
- ・リーダーは、滑らかな口調と正確な知識で一連の案内を上手にまとめられたと思いました。

今回は初めての試みの新コース。それを感じさせない完成度だと感心しました。

(実習生)

- ・歌碑は苦手ですが、なかなかこういう機会はないので参加させていただきました。

東大寺、春日大社など、地理的なものは判りました。ありがとうございました。

(シニア自然大学より 見学)

- ・初めて参加させていただきました。皆様の勉強熱心さには感心させられました。

丁寧な解説ありがとうございました。良かったです。今後とも元気に続けていただければ、輪は広がると思います。

(特記事項・申送り事項・開花状況など)

1班班長所感

思ったより、奥深い「歌碑コース」ですね。掲示資料、リーダーさんの工夫、見習いたいです。
距離はけっこう長いですが、寒さも歩くとましになり、快適でした。

2班班長所感

歌碑コース、いつもとは違う案内に新鮮さを覚えた。
このコースは今回は晩秋だったが、季節を問わず、楽しめると思った。(ただし夏以外)
和歌、俳句などに現れるその時代の人々の感情に少しでもふれることができたら、楽しいと思った。

3班班長所感

新コースというのは、注文がいろいろあると思う。多くの意見があつていい。
今回、3班に実習生と見学者の2名の参加があった。初めての人はどのように感じるのか?気になった。
歌の説明書を渡してあったが、途中から見ている様子はなかったから。神社仏閣の説明を理解するだけで精一杯、ということだろうと思う。
しかし南都八景はすんなり奈良市民に受け入れられている。回数を重ね。こなれてくると
歌碑と歴史散策がぴったりくるようになるのではないかと思う。
ならなぎに和歌や俳句を正確に伝える知識はないから(特に自分には)、歌碑は単なる歴史散策のツール、
案内に色を添える道しるべだと理解している。

- ① 朝礼で**各班長**が出欠確認、終礼で感想聴取を済ませ**例会日誌作成**。
- ② 例会日誌(導入例会日誌を含む)を当番班長にメール送信。
- ③ **当番班長**は例会日誌をもとに**例会結果報告書(当書式)**を作成、
代表・事務局長・班長・副班長あてに送信。
- ④ **事務局**は年間出席簿を記録保管。
- ⑤ **ホームページ担当**は開示処理をする。